

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
【部門区分】第 7 部門第 3 区分  
【発行日】平成 17 年 4 月 7 日 (2005.4.7)

【公開番号】特開 2003-133838 (P2003-133838A)  
【公開日】平成 15 年 5 月 9 日 (2003.5.9)  
【出願番号】特願 2001-326551 (P2001-326551)  
【国際特許分類第 7 版】

H 0 1 Q 5/01  
H 0 1 Q 1/36  
H 0 1 Q 1/38  
H 0 1 Q 9/36

【F I】

H 0 1 Q 5/01  
H 0 1 Q 1/36  
H 0 1 Q 1/38  
H 0 1 Q 9/36

【手続補正書】

【提出日】平成 16 年 5 月 20 日 (2004.5.20)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 1】

【発明の属する技術分野】

本発明は、通信や放送の送受信に用いられるモノポールアンテナに係り、特に、車載用や携帯用として好適なモノポールアンテナに関する。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 3】

【発明が解決しようとする課題】

しかしながら、上述した従来のモノポールアンテナは、ロッド状の放射導体の全長が  $\lambda/4$  なので、例えば携帯電話に多用されている 800 MHz 帯域の電波の送受信を行う場合、全長が 10 cm 近い放射導体が必要となり、車載用モノポールアンテナとしては高さ寸法が大きすぎるという問題があった。しかも、この種のモノポールアンテナは共振周波数帯域が狭く、特定の周波数付近の電波に対してだけ共振するので、受信しようとする電波の周波数にばらつきがある場合、感度が極端に低下してしまう恐れがあった。